



隔週金曜日発行

東大阪市議

# 中西のぶひろの 週刊なのタイムス

～東大阪の市政や地域情報を伝えます～

第55号令和5年6月16日発行

発行：東大阪市議会議員 中西のぶひろ

住所：東大阪市瓢箪山町2-14

連絡先：(TEL)072-982-5127 (FAX)072-985-6972

携帯：090-8164-5857

メール：nakanishi.jimusho@gmail.com

ホームページ：<https://www.nanotimes.net/>

しばらく休刊していた「週刊なのタイムス」再開させていただきます。市政のことや地域の情報を中西なりの目線で皆さんにお伝えする姿勢は変わりません。それに加えて今後は政策的な論点を加え、中西の考え方を明確にしてそれを実現するためにどんな方策を考えていくのか、皆さんに訴えてまいります。

## ■瓢箪山駅前交番が移転します

瓢箪山駅南側のジンジャモール瓢箪山商店街アーケード内にある交番所が、現交番の南側にある自転車駐輪場のところに移転することになり、6月中旬から工事が始まりました。パトカーが駐車できるスペースが確保されますが、有事の際には繁華街にある交番の故に、フットワーク軽く出動する・・・というわけにはなかなかいかないかもしれません。しかし人通りの多いところに交番があることの安心感は何物にも代えがたいと言えます。

完成は、来年2月の予定で、移転後に現交番は解体され、土地は市に返還されますが跡地の利用については本決まりにはなっていません。アーケード内にもあり商店街で人が集うスペースに活用されると、地域の活性化には大いに貢献すると考えるので、市にも働きかけてまいります。



図① 瓢箪山駅前交番



図② 移転先地図

## ■6月議会で個人質問をしました

今回の本会議の個人質問は気合が入りました、9月末で3期目の市議の任期が終わり、任期中最後の質問になるからです。特に今回は、【1】東大阪市歌の活用について、ごみ収集車のテーマソングに市歌を導入するという市民からの要望を形にするという論点

【2】地域の市民の交通手段をどう確保するのかという論点 【3】都市計画道路大阪瓢箪山線をどう早期実現するか 【4】市として観光施策をどう発展させるのかなど、市民の身近な論点として市とも十分に詰めながらやりました。また【5】東大阪の教育の大きな特徴のひとつになってきた中学校夜間学級についての評価とこれからの市の姿勢について問い合わせ、どの論点も、政策実現への一定の成果があったのではないか、と考えています。

## 【1】東大阪市歌の活用について

東大阪市歌は、三市合併した昭和42年（1967）に合併記念事業としてつくられましたが、三市合併後55年の歴史を持つにもかかわらず、市の行事等で演奏されるくらいで市民の認知度が低く、なかなか市民に浸透していませんでした。市としても市歌を再評価し、市のアイデンティティのひとつとして様々な場面で活用し、市歌に接する機会を増やすことができれば、郷土愛が育まれ、まちづくりの一つのツールとして生かせるのではないかと市長に質問したところ、同じ思いで今一度注目し活用するとの答弁をいただき、早速始業前の庁内放送に使われました。



市歌をごみ収集車のテーマソングにしてはどうかという私の質問に対しては、環境部から諸課題を整理して活用を検討していくという前向きな答弁をいただきました。実現に向けて尽力します。

## 【2】地域の交通手段について

交通空白地域や不便な地域で、コミュニティバスを通してほしいという要望は強いものがあり、これは多くの議員が市民の声の中で、最も多く聞く声であることは間違ひありません。買い物や病院への通院、通勤・通学など日々の生活の中で多くの市民が不便さを訴えており、高齢化とともに、免許証返納の問題もあり、返納すれば手足をもぎ取られたと同じで移動が困難となります。東大阪市でも早急に導入して、生活道路に毛細血管のようなきめ細かな路線づくりをして利用者の利便性を図るべきであり、市の考え方と実施しようとしている事業を質問しました。

市では、10人乗りまでの小型車両を利用して民間事業者が行う半径2～3キロの地域の交通移動手段の新しいしくみの事業（コミュニティ モビリティ）を、行政が支援するという社会実験を今年から数年かけて実施しようとしています。今年度の社会実験は、急な坂が多く移動が特に困難になる東部地域で行ない、うまくいけば全市に広げようと考えています。スマホなどを使って事前に登録する必要がありますが、買い物など交通手段が必要になるときにスマホアプリを使うか電話で呼びだし、地域で数百カ所設定する乗降場所から他の利用者とシェアして利用するサービスです。登録制なので少し面倒なのと、登録のしかたがわからないといった声もあるでしょうが、一旦登録したら、ワンボックスカーをシェアして乗り合ライメージで、とても合理性があると思います。これについては、これからも詳報してまいります。

## 【3】都市計画道路大阪瓢箪山線の早期完成について

大阪瓢箪山線は、中央環状線から東花園の区間がラグビーWカップの開催に間に合うように完成しましたが、東花園から外環状線の区間は工事がひじょうに遅れており、国の事業認可が今年3月まででしたが、市の仕事である用地買収は全体の3割しか進んでいません。事業認可期間が、令和10年まで5年間延長されることが国に認められましたが、府の仕事である道路建設をスタートさせるためには、市が土地買収を終えなければいけません。道路建設に3年かかるとしても、事業認可期間内に道路を完成させるためには、用地買収はこの2年間にしなければいけないことになります。用地買収を担当する土木部からは、大阪府と十分な協議を重ねて事業認可期間内の事業完了を目指すという力強い答弁を得ており、また市長も、この道路が完成すると大阪内環状線と大阪外環状線がつながり、東大阪の都市計画上とても重要で早期に完成させなければいけない道路であるという認識を示しており、他部署とも連携して完成に向けて努力することを約束しました。完成までしっかりと訴え続けてまいります。

